

新除草・調節剤

パイサー®粒剤

ピラゾキシフェン粒剤

(取扱メーカー) 石原産業株式会社

対象作物：水稻（移植および湛水直播）

成分・作用特性：本剤は2-[4-(2,4-ジクロロベンゾイル)-1,3-ジメチルピラゾール-5-イルオキシ]アセトフェノン……ピラゾキシフェン10%を含有する類白色の細粒である。

本剤は、雑草の茎葉部・根部から吸収されるが、主に茎葉部を通じて吸収され、雑草の上方、下方のいずれにも容易に移行する。散布の4～5日後から、雑草の新葉に顕著な白化作用が起こり、日数の経過とともに白化による光合成の阻害、飢餓状態を経て、新葉以外の部分も次第に退色して枯死に至る。

特徴：①広範囲の雑草に有効である。ノビエ・コナギ・タマガヤツリなどの一年生雑草はもとより、マツバイ・ホタルイ・ウリカワ・ヘラオモダカ・ヒルムシロ・ミズガヤツリなどの多年生雑草を同時に防除でき、常に安定した高い効果を発揮する。②抑草期間が長い。雑草の発生前から発生揃期に使用すると、30日以上抑草期間がある。③水稻に対する安全性が極めて高く、移植においてはもちろんのこと、湛水直播においても薬害の心配がなく、安心して使用できる。④人畜・魚介類に対し安全で、環境に及ぼす影響が少ない。

毒性：急性経口毒性は普通物、魚毒性はB類である。

使用方法：①移植後処理は、移植直後から7

日までに10a当り3～4kgを湛水散布する。より優れた除草効果を発揮させるには、代かきから移植までの期間をできるだけ短くし、雑草発生始めの移植後5日頃までに散布するとよい。

②移植後体系処理は、移植前後の初期土壌処理剤との体系で使用し、移植後10～15日に10a当り2.5～3kgを湛水散布する。③湛水直播栽培では、播種前後から播種後7日までに10a当り3kgを湛水散布する。より優れた除草効果を発揮させるには、播種後3～4日に散布するとよい。

使用上の注意：①処理時期が遅れると効果が劣る場合があるので、適期を失しないよう、雑草発生前からノビエ1葉期までに使用する。②整地・代かきはていねいに行ない、田面を均平にする。③湛水状態で均一に散布し、散布後少なくとも4～5日間は通常の湛水状態（3～5cm程度）を保ち、田面が露出することのないようにし、また落水やかけ流しをしない。④砂土および極端な漏水田では、効果の劣る場合があるので使用しない。

ワンオール®粒剤

ピラゾキシフェン・プレチラクロール粒剤

(取扱メーカー) 石原産業株式会社
八洲化学工業株式会社

対象作物：移植水稻。

成分・作用特性：本剤は、2-[4-(2,4-ジクロロベンゾイル)-1,3-ジメチルピラゾール-5-イルオキシ]アセトフェノン……ピラゾキシフェン6%と2-クロロ-2',6'-ジ

新除草・調節剤

エチル-N-(2-プロポキシエチル)アセトアニリド……プレチラクロール 1.5%を含有する類白色の細粒である。

本剤は、ピラゾキシフェンの作用とプレチラクロールの作用の特性を活かし、極めて高い除草効果を発揮する。ピラゾキシフェンは、雑草の茎葉部と根部から吸収されるが、主に茎葉部を通じて吸収され、雑草の上方、下方いずれにも容易に移行する。その作用は、主に白化による光合成の阻害、それに伴う雑草の飢餓状態、衰弱を経て枯死に至る。一方、プレチラクロールは、クロロアセトアニリド系除草剤に属し、雑草の幼芽部および幼根部より吸収されて植物体内を移行し、作用点（蛋白合成系）に到達して蛋白質の生合成を阻害して雑草を枯殺する。

特徴：①広範囲の雑草に有効である。ピラゾキシフェン単用でも、ノビエ・コナギ・タマガヤツリ等の一年生雑草はもとより、マツバイ・ホタルイ・ウリカワ・ヘラオモダカ・ヒルムシロ・ミズガヤツリ等の多年生雑草をも同時に防除できるが、プレチラクロールとの混用により、ノビエ・マツバイ・ホタルイ・ミズガヤツリに対する効果が一段と増し、広範囲の雑草全般に極めて高い効果を発揮する。②除草効果が安定している。処理適期幅が広く、また確実な効果を発揮するため、気象の年次変動や地域性によって生ずる雑草のダラダラ発生の状態においても、常に安定した効果を発揮する。③抑草期間が長い。適地においては、40日以上は雑草の発生を抑えるので、中期剤を省略することができる。④水稻に対する安全性が高く、温度や土壌条件によっても影響されることが少ない。⑤人畜に対する毒性が低く、魚介類に影響が少ない。

毒性：急性経口毒性は普通物、魚毒性はB類である。

使用方法：移植後3日から10日までに、10a当り3～4kgを湛水散布する。より優れた除草効果を発揮させるには、代かきから移植までの期間をできるだけ短くし、雑草発生始めの移植後5日頃までに散布するとよい。

使用上の注意：①雑草の発生始期散布の効果が高いので、時期を失しないように早めに使用する。また、多年生雑草は、生育段階によって効果にふれがでるので、必ず適期に散布する。ホタルイ・ヘラオモダカ・ウリカワは2葉期まで、ミズガヤツリは発生始期まで、ヒルムシロは発生期が本剤の散布適期である。②苗の植付けが均一となるように、代かきをていねいに行なう。③散布にあたっては、水の出入りを止め、湛水のまま田面に均一に散布し、少なくとも4～5日間は通常の湛水状態（3～5cm程度）を保ち、田面が露出することのないようにし、また落水やかけ流しはしない。④軟弱苗を移植した水田、極端な浅植えをした水田、砂質土および漏水の大きな水田では、散布後の初期に一時的な生育抑制やクロロシスを生ずることがあるので使用しない。

ワンオール粒剤8の適用：北海道においては、ピラゾキシフェン8%とプレチラクロール 1.5%を含有するワンオール粒剤8を使用する。

ナブ[®]乳剤

セトキシジム乳剤

（取扱メーカー）

日本曹達株式会社